

市議会だより

9月定例会



市長へ政策等の提言書を手交する正副議長及び各委員長

主な掲載内容

- ◎政策提言について 2
- ◎一般質問..... 3～11
- ◎9月定例会の主な議案審議内容..... 11
- ◎所管事務調査について..... 11
- ◎議決結果一覧..... 12

QRコードをスマートフォン等で
読み取って活用してください。



市議会
ホームページ

市長へ政策等を提言

本市議会においては、議会基本条例第10条に基づき、本市議会10回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。本年度は、昨年同様に会場において直接市民から御意見を伺うとともに、インターネット等でも並行して御意見の聴取をさせていただきました。また、新たに市民同士及び議員との対話が活性化される「グループワーク形式」を導入し、より多くの声が届いた結果、130件の市政等に関するさまざまな御意見、御要望をいただき、市議会として調査、協議を行った上で9月26日、市長へ政策提言及び申し送りいたしました。

市議会からの政策等の提言について

1. 普天間交差点における交通渋滞対策について

国道330号普天間交差点は、令和6年12月より普天満宮向けの車線運用の見直しが行われたが、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯など、以前よりも交通渋滞がひどくなっており、元の車線運用に戻すなど、市民から改善の要望も寄せられている。

南部国道事務所は、車線運用変更後に周辺の交通状況も併せて、交通量調査を行ったとのことであるが、調査結果を踏まえ、市としても状況把握に努め、早急に改善策を検討のうえ、国等関係機関に対し要請していただきたい。

2. 小中学校体育館への空調設備の設置について

近年、地球温暖化の影響により猛暑が常態化し、特に熱がこもりやすい体育館での学校行事や体育活動などを行うことによる熱中症リスクが懸念されており、児童生徒の健康と安全確保のため小中学校体育館への冷房設置について、市民からの要望が寄せられている。

学校施設は、こどもたちの学習生活の場であり、災害時には指定避難所としても活用される場であるため、熱中症対策だけでなく避難所機能の強化、耐災害性の向上が期待できる。

以上により、小中学校体育館への早急な空調設備の設置を検討の上、環境整備を実施していただきたい。

★市議会ホームページから回答一覧をご覧ください。



9

月 定例会

令和7年度宜野湾市一般会計補正 予算(第3号)を全会一致で可決

第467回宜野湾市議会定例会は、9月5日から26日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会は、令和7年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)を含む30件にわたる議案等が審議され、24名の議員による一般質問も行われました。

主な議案

- 令和7年度宜野湾市一般会計補正予算(第3号)
- 令和7年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 高規格救急自動車購入に係る物品の取得について

※12ページをご参照ください。

議事日程・議決結果等の
詳細はこちら



一般質問

今定例会は、24名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。

市の様々な課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く「一般質問」。各議員それぞれの切り口で市政を問います。



議会中継はこちらから



議会会議録はこちらから



各議員の記事から一般質問の録画映像がご覧いただけます。(スマートフォン等で読み取りください。)

【公共施設】公共施設の照明LED化について

その他の主な質問

- ◎Park PFIを活用した官民連携の取組について
- ◎市道及び私道の道路維持管理と整備について

◎議員 現在使用されている蛍光灯は、二年後の二〇二七年に製造中止になるが、その理由を伺う。

◎市民経済部長 令和五年の水銀に関する水俣条約第五回締約国会議において、水銀添加製品である一般照明用の蛍光灯ランプ製造及び輸出入を段階的に廃止することが決定されたことによるものである。

◎議員 蛍光灯以外の電熱球、電球等の使用はどうなるのか伺う。

◎総務部長 水銀が含まれていない照明器具に関しては、規制の対象外となっている。

◎議員 本市の主な公共施設のLED照明への切替え状況を伺う。

◎総務部長 LED照明に全て切替え済みの施設は、本庁舎別館、市民会館、赤道老人福祉センター、伊利原老人福祉センターと五つの学習等供用施設である。また、一部切替え済みの施設及び切替えが済んでいない施設については、庁内調整の上、適宜、LED照明への切替えが実施されていくと考える。



知名 康司 議員



【建設】市道長田1号沿い沖縄自動車道隣接区域の緑地帯の維持管理について

その他の主な質問

- ◎普天間飛行場の危険性の除去と所属機の段階的移駐について
- ◎市道長田・愛知線の志真志及び我如古地域への延伸について

◎議員 同区域に桜が約三十六本植栽され、毎年開花するが、桜並木を確認しているか。

◎建設部長 平成二十三年度の道路整備完了後に長田区自治会より桜を植えたいとの要請を受け、管理を自治会が行う条件で許可した。

◎議員 該道路西側の緑地帯で桜が植えられている土地は本市の所有地か。

◎建設部長 のり面部分の緑地帯は日本道路公団から譲渡を受け本市の所有地である。

◎議員 緑地帯の維持管理は計画的に行っているのか。現在、約半分が除草等実施されているが、残りはどうなるのか。

◎建設部長 当時、植栽等の管理も含め自治会で行う条件で許可しているが、現在の現場は、雑草等が繁茂している状況があり、再度自治会と維持管理について協議してまいりたい。

◎議員 内容は理解しているが、敷地が広く自治会だけの管理は難しいと考える。市有地でもあることから、市の協力について今後協議をお願いする。



我如古 盛英 議員



【学校施設】学校施設照明LED化改修事業について



石川 慶 議員



○議員 当該事業のスケジュールを伺う。

○教育部長 小中学校九校を対象に改修設計に着手しており、令和八年度から令和十年度に改修工事実施する計画である。

○議員 人体に影響の少ないブルーレイカットノイズカット、フリッカーレス対応のLED照明器具の導入を提案する。これらの機能は単なる付加価値だけではなく、子ども達の健康と学習環境の質を守るために重要であると考えているが御見解を伺う。

○教育部長 子ども達の学習環境の改善向上はもとより健康被害を避けるための対策として有効と考える。導入事例や各照明メーカーの対応状況、整備コスト等も確認した上で、仕様について検討していきたい。

○議員 単なる快適性の向上だけではなく、教育現場における安全性、健康や学習効率を守るための照明環境として非常に理想的ではないか、教育長の御見解を伺う。

○教育長 良好な施設環境の確保と子ども達が明るく元気に学べる環境づくりが重要だと考えており、検討し取り組んでまいります。

その他の主な質問

○ふるさと納税自治会応援制度について
○市道大山七号（ハルヨイ橋）の足元を照らすフットライトについて

【基地】市長の訪米要請について



宮城 優 議員



○議員 市長の訪米には、県民、市民が注目している。日程や訪米メンバーを伺う。

○基地政策部長 米国ワシントンDCにて十月二十六日から三十一日まで、参加者として市長と随行員四名を予定している。

○議員 米側の要請先や要請内容を伺う。

○基地政策部長 要請先は国務省、国防総省の米国政府関係者や米国連邦議会議員など、普天間飛行場問題に関係する方々を考えており、一日も早い閉鎖返還及び速やかな運用停止の実現をはじめ、返還期日の早期確定、返還されるまでの間の危険性の除去及び目に見える形の負担軽減の実現を強く訴えてまいりたい。

○議員 市長の決意と意気込みを伺う。

○市長 まちのど真ん中である普天間飛行場を一日も早く返還すること、それが市民の基地負担軽減の象徴である。しっかりと返還を実現することを日米両政府、そして地元と協力しながらやっていく、それが重要であることを伝え、市長として努力をしていく。

その他の主な質問

○基地行政について
○大山地区土地区画整理事業の進捗状況について
○平和行政について

【地域】普天間基地から派生する騒音被害の対応方について



山城 康弘 議員



○議員 上大謝名地域での騒音被害の課題解決に向けた取組状況について伺いたい。

○総務部長 防災危機管理室の取組として、当該課題に対し、上大謝名地域の防災行政無線の音量を最大にする対応をしたが、効果が十分ではなかったため、他市町村の事例の研究や事業者への相談等を行ってきた。その中で、特定小電力の無線を活用し、上大謝名地域のどの範囲まで届くか実証実験、モニタリングを行う必要があり、現在実証実験の実施に向け、調整を行っている。

○議員 無線を活用する方法のモニタリングについて、その設置時期及び設置規模について伺いたい。

○総務部長 実証実験は、十月十四日から十六日に実施を予定している。複数の防災ラジオの使用により、場所や距離などを変えながら実験を行いたい。

○議員 今後の事業化に向けて見解を伺う。

○総務部長 実証実験の結果や様々な課題等を踏まえ、事業化が可能かどうかについても検討してまいりたい。

その他の主な質問

○学校におけるいじめの現状と対策について
○障害者自立支援給付費国庫負担金について

【上下水道】下水道未整備地域の解消について

その他の
主な質問

◎市道宜野湾十一号の道路標示について
◎宜野湾中学校グラウンド周辺の落書きについて

◎議員 本市の下水道整備率、水洗化率について伺う。
◎上下水道局長 令和六年度末時点で下水道整備率は九六・四三%、水洗化率は八五・四二%である。
◎議員 下水道整備率は高い水準であるが、依然として未整備地域が残っている。市民からは「整備されれば接続したい」、「衛生的な生活を送りたい」との声が寄せられている。切実な市民の願いである。公平な生活環境の確保のため、要望のある地域について早期に整備をすべきと考えるが、今後の対応について伺いたい。
◎上下水道局長 未整備地区の整備についても計画的に進めているが、下水道が未整備となっている地域の多くは個人所有の私道を含み、土地所有者の承諾や権利関係の複雑さから整備が難航している状況である。土地所有者の御協力を得ながら、関係機関や地域の方々との調整を図り、整備に向けた条件が整い次第、速やかに対応できるように取り組んでまいりたい。



上里 広幸 議員



【教育】学校におけるいじめ対策について

その他の
主な質問

◎学校給食における二次調理食の提供について
◎障害者優先調達推進について

◎議員 市内小中学校のいじめ件数を伺う。
◎指導部長 令和六年度は、小学校八百九十三件、中学校六十三件、計九百五十六件となっている。
◎議員 早期発見のための対応策、発見した時の対応法、関係機関との連携、それら全てが教育委員会で集約されており、全てを担うのは困難と考える。そこで猿屋川モデルを紹介したい。いじめを人権問題と捉え発見したら即時停止。担当は市長部局へ設置の監察課。独自データに基づく是正勧告。いじめ早期発見の攻めの情報収集。毎月実施のアンケートはいじめの顕在化が目覚ましいが抑止にもつながる。本市でも市長部局に監察課なるものを設置してはどうか。
◎指導部長 教育委員会と市長部局の役割分担や連携の在り方を検討し、市長部局と意見交換を行いたい。
◎議員 積極的な姿勢を見せるため、いじめに関する条例制定を考えてはどうか。
◎指導部長 先行事例等を踏まえ、制定の必要性についても調査研究を進めたい。



又吉 亮 議員



【福祉】重度訪問介護利用者の大学修学支援事業について

その他の
主な質問

◎サンエー喜友名店前の横断歩道設置について
◎オートバイの試乗用ナンバープレートについて

◎議員 本市在住の母親と沖縄県看護連盟から、市長宛てに要請があったと思うがその要請内容を伺う。
◎福祉推進部長 令和七年九月八日に、沖縄県看護連盟より要請があった。重度障がい者が就学するために必要な支援体制を大学が構築できるまでの間、大学等へ通学中及び大学等の敷地内における身体介護等の支援を行う事業について、令和八年四月に大学進学を予定している宜野湾市民が支援を受けられるよう、同年四月の事業開始を求める内容であった。
◎議員 要請は、重度障がいであるが大学で学びたいという内容と思う。国、県、市が支援する事業であり、進めるにあたり県と協議していただきたいが、見解を伺う。
◎福祉推進部長 事業実施に向けては、沖縄県や大学との相談を重ねながら検討してまいりたい。
◎議員 本員は、障がいの有無で教育に格差があってはいけないと思うので、ぜひ対応をよろしくお願い申し上げたい。



知念 秀明 議員



【経済】女性デジタル人材育成事業について



伊佐 哲雄 議員



○議員 当該事業の目的と予算等の概要について御説明願いたい。

○市民経済部長 育児や介護など時間や場所の制約を受けやすい女性が、デジタルスキルを習得し、多様な働き方を選択できるように支援することを目的とし、事業費を約四百六十四万円計上している。財源は、内閣府の地域女性活躍推進交付金や市の一般財源等を充てている。

○議員 すでに募集を終了したとのことだが、受講申込み状況と選考基準を伺う。

○市民経済部長 より多くの市民に情報が届くよう、市報や市公式LINEなどを活用した結果、百七十二人から申込みを受け十八人を選考した。選考基準は、半年間にわたる学習を継続して受講できるか、習得したスキルを生かし、就職や転職、所得向上を目指す意思が明確かなどを総合的に審査し選考した。

○議員 目的がきちんと達成できるように、市としてしっかりサポートし、当該事業が成功するよう取り組んでいただきたい。

その他の主な質問

- 市道における雑草対策について
- 公園等の遊具について
- 都市公園における遊具の設置状況について

【公共施設】中央公民館の利用方法について



平安座 武志 議員



○議員 サークル活動を行っている一部の方々から、当館の大規模改修工事後の利用方法について、三点の要望があった。予約時間前の入室、駐車場側のスロープの活用、館内倉庫の利用など、工事後に厳しくなった運用方法に対する改善を求める要望であるが、見解を伺う。

○教育部長 時間前の入室許可については、多くの市民に利用していただくため、準備等も含め時間内で利用いただきたい。次に、スロープの利用については、要望後、夜間サークル活動時も施設を解いている。また、倉庫の利用については、備品等の保管場所が不足しており利用不可とした。サークル団体の皆様には御理解をお願いする。

○議員 文科省が示す公民館設置基準では、地域の実情に応じ住民の意向を適切に反映した運営がなされるよう努めるものとあり、柔軟な対応を求めるがいかがか。

○教育部長 議員からの提案等も踏まえ、またサークル団体からの意見も随時受けて、適切な対応に努めてまいりたい。

その他の主な質問

- 公共施設の維持管理について
- 公共施設等総合管理計画について
- 民間活用への取組状況について
- 学習等供用施設について

【防災】防災対策について



宮城 政司 議員



○議員 宇地泊から北谷町北谷まで宜野湾バイパスや国道五十八号上に設置される高架の宜野湾道路の建設が事業化された。この道路を津波からの避難施設として利用できるように国や県に要望できないか提言したが、その後どうなったかを伺う。

○総務部長 令和六年十一月に実施された南部国道管内防災担当者連絡会議にて、防災危機管理室より当該内容について意見交換した。今後は南部国道事務所との調整を図りながら、検討を進めたいと考えている。

○議員 市道喜友名二十三号は避難経路とされているが、伊佐区からは国道五十八号を横断する必要がある課題である。宜野湾道路を歩道橋のように使えば、国道五十八号の交通にかかわらず、避難する経路が確保できる。設計追加の声をあげてほしい。

○総務部長 庁内の関係部署や南部国道事務所とも調整を図りながら検討を進めていきたい。

○議員 地域の皆様の声を受けた上で対応をお願いする。

その他の主な質問

- ウチナー文化及び伝統行事の保存継承・普及促進について
- 市内道路整備等について

【環境】本市における水質及び土壌のPFAS対策について

その他の
主な質問

- ◎大山認定こども園移行に伴う影響について
- ◎伊原市営住宅の集会場の活用について

◎議員 わかたけ児童公園で実施した水質改善事業について伺う。

◎建設部長 水質改善施設の概要についてはオゾン分解力と活性炭の吸着力で有機フッ素化合物を除去する装置となっている。

◎議員 ていーちがー公園及びわかたけ児童公園は、もともとPFOSが検出されたということからの事業だが、PFOA、PFOSの合計値及び水質改善後の数値を伺う。

◎建設部長 わかたけ児童公園は、水質改善前の値が一リットル当たり五百八十ナノグラムであったが、水質改善器を設置した後の値は一ナノグラムまで改善されている。

◎議員 公園の水は子供にとって危険だということから始まったが、宜野湾市はPFAS対策をしっかりとやっている。宜野湾市の公園は安心・安全な湧水だということを市報やSNSを活用して周知していただきたい。今回の水質改善は他市町村も注目しているの、しっかり対応していただきたい。



伊佐 文貴 議員



【防災】自主防災組織の運営と課題について

その他の
主な質問

- ◎県営大謝名団地内に整備予定の保育施設について
- ◎市道宇地泊二十七号付近の歩道整備について

◎議員 宜野湾市において何年前から自主防災組織が立ち上がったのか、また現在の自主防災組織がどのくらいあるのか伺う。

◎総務部長 大謝名団地自主防災・地域支えあい活動推進委員会が平成二十一年九月に設立されて以後、令和三年度までに二十三の自治会全てに自主防災組織が設立されている。

◎議員 自主防災組織を結成した組織の必要と、活動支援について伺う。

◎総務部長 自主防災組織は、自分たちの地域は自分たちで守るという自助、共助の精神の下、地域住民が自主的に結成する組織となっており、本市の防災体制強化のために必要な組織となっている。本市は、自主防災組織に対して、自主防災組織設立時補助事業として、一回限りであるが、十万円、防災資機材整備事業として、これも一回限りではあるが、二百万円、地域防災活動事業として、これは毎年度、十万円を補助金として支出し、自主防災組織の活動、運営を支援している。



濱元 朝晴 議員



【福祉】女性と子どもの権利擁護と生活拠点としての母子生活支援施設について

その他の
主な質問

- ◎こども誰でも通園制度について
- ◎病児・病後児保育事業について
- ◎市民図書館や学校図書館における読書環境の整備について

◎議員 母子生活支援施設とはどういう施設か伺う。

◎こども部長 ひとり親の母とその児童を入所させ、保護するとともに、自立促進のための生活支援等の実施を目的としている。

◎議員 どういった母子が入所するのか。

◎こども部長 市の女性相談はDV相談が二百件を超えている。全国的な調査では入所理由のうち配偶者からの暴力が五〇%を超え最多、年齢別では三十代が多い。

◎議員 当市でも過去母子世帯への住宅支援を行っていたが、現在実施していない理由を伺う。

◎こども部長 平成二十八年から四年間実施していたが、ニーズと事業のミスマッチにより現在実施していない。

◎議員 本当に必要な方に情報が届かなかったのではないのか。先の事業は一度目の佐賀市市政にて実施された。再度女性が安心して子育てできるまちづくりへ見解を伺う。

◎市長 ひとり親支援の課題を踏まえ、支援の拡充等を含め検討してまいりたい。



座間味 万佳 議員



【教育】GIGAスクール構想における3つの柱の検証について

その他の
主な質問

◎（仮称）はごろもバス（コミュニティバス）の運営について
◎宜野湾地区学習等供用施設の建て替えについて

◎議員 GIGAスクール構想は二〇一九年に全国の児童生徒一人一台の情報端末等を整備、活用することによって教育の質を向上させ、可能性を引き出す学びを実現することを目的としている。本市においては二〇二一年六月から開始をしており、対象生徒は小学一年から中学三年生までの一万三百七名となっている。高速大容量通信ネットワークの整備は整ったのか。

◎指導部長 校内ネットワーク整備については、令和二年度に市内小中学校の普通・特別支援・理科音楽等の授業を行う全ての教室にWi-Fi環境を整備している。

◎議員 A-1えいご「マグナとふしぎの少女」という英語教材ソフトで、経産省HP「未来の教室」、文科省HP「たのしくまなび隊」に掲載され、今注目されている英語アプリである。この英語学習アプリを参考に、もっと子供たちが楽しんで学べるような環境づくりを求めているいただきたい。ぜひ検討の方よろしく願いたい。



宮城 克 議員



【教育】学校給食における二次調理食の提供及び食育について

その他の
主な質問

◎防災の取組について
◎若者の声を市政に反映させるための若者議会について

◎議員 アレルギー除去食、ミキサー食などが今後長期的に増えていくことが見込まれる。どのように環境を保障するのか伺う。

◎指導部長 アレルギー除去食の実施に当たっては、児童生徒の健康に重大な事態を招かぬよう、安全・安心で確実な対応が必須で最優先となる。今後とも調理場施設の状態も勘案しながら、安全性を最優先に考え取り組んでまいりたい。また、ミキサー食については、近年、医療的配慮を必要とする児童生徒の増加等を背景に、今後も長期的にニーズの拡大が見込まれる。そのため教育委員会として、安全かつ持続可能に提供できる体制づくりの検討を進めてまいりたい。

◎議員 保護者、担任、栄養教諭、校長、教育委員会での食育推進委員会を持ち、子供の権利を守るため話し合いをすることが大切ではないか。アレルギー食の九十三名やミキサー食五名も含め、全ての子供たちを大切にするために栄養教諭を増やすなど、環境整備の見直しなども必要ではないか。



プリティ
宮城ちえ 議員



【自治会】自治会の運営並びに会長及び書記の給与適正化について

その他の
主な質問

◎再犯防止推進計画並びに若者就業支援に係る事業について
◎PFI導入並びに沖縄振興事業について

◎議員 自治会長及び書記が担う行政委任事務は、規模にかかわらず同一と認識するが、業務量の均一性と公共的役割を伺う。

◎市民経済部長 自治会の規模や運営状況によって幅はあるものの地域社会を支える基盤として公共的役割を果たしている。

◎議員 育成補助金交付規則の内容を伺う。

◎市民経済部長 自治会の自主的な運営の支援のため、世帯数規模を基準とした段階別基本額と実際の世帯数が基準の段階基本額、世帯割額、加入世帯割額の三区分で算出し各自治会の活動経費の一部を支えている。

◎議員 自治会長、書記の報酬格差の是正、適正化について伺う。

◎市民経済部長 社会全体の物価高騰、民間賃金の上昇を踏まえ、自治会の財政規模などを把握し、運営費算定根拠の妥当性を検証し、自治会長、書記の給与は正に検討を加え、支援してまいりたい。

◎議員 育成補助金の支出が人件費に関わるようガイドラインを整備し、進めてもらいたい。



上地 安之 議員



一般質問

【教育】児童のスポーツクラブの利用普及について

その他の 主な質問

◎小中学校体育館への空調機導入について
◎普天間飛行場から派生する騒音問題への取組について

◎議員 今般、児童生徒たちの通信機器等の使用時間が増加傾向にあることから、体力・運動能力の低下が懸念されている。児童生徒の健康・体力づくりには、スポーツに取り組むことも有効であると考えているが、本市ではスポーツに関わりたいたいと考えている児童の意向調査を実施したことはあるか伺う。

◎指導部長 教育委員会において市内小学生全員を対象としたスポーツに関わりたいたいと考える児童の意向調査は実施していない。

◎議員 希望しつつも、経済的な面からスポーツクラブ等への入団入部を躊躇するケースもあると聞く。市の支援について伺う。

◎市民経済部長 なるべく多くの児童生徒が、希望するスポーツに触れる機会を増やしたいと考えており、今後実態把握や経済的支援について調査研究してまいりたい。

◎議員 児童生徒たちが取り組みやすくなるよう支援いただきたい。また、家庭の個別的な負担軽減等の目的で、市内事業者からの協賛により支援を受けられる仕組みについても働きかけをお願いしたい。



下地 崇 議員



【防災】市内公共施設における災害時のトイレ確保について

その他の 主な質問

◎ペットボトル（資源ごみ）回収日見直しの進捗について
◎市の物価高騰対策の取組について

◎議員 避難所における洋式トイレ化の状況を伺う。

◎総務部長 避難所指定五十六施設で男子トイレの個室百五十七室のうち百五十一室、女子トイレ個室二百七十四室のうち二百六十六室、多目的トイレ八十室のうち七十八室、合計五百一十一室のうち四百九十五室の約九十七％が洋式化トイレである。

◎議員 避難所生活における五百人のアンケートで一番困ったのは、第一がトイレであり、食事は我慢できるが、トイレは我慢できないとの事である。災害による、水道、電気のライフラインが止まった場合の簡易トイレの配置状況を伺う。

◎総務部長 簡易トイレの配置状況は、五十六の避難所に四基ずつ、合計二百二十四基の簡易トイレを設置している。

◎議員 簡易トイレがあれば自宅が避難所になる。トイレの普及啓発に取り組んでいただきたいが、いかがか。

◎総務部長 簡易トイレの重要性について市民に引き続き普及啓発に努めたい。



伊波 一男 議員



【こども】公民館での放課後児童クラブの実施について

その他の 主な質問

◎放課後等デイサービスでのセルフプラン導入について
◎野嵩一区公民館の建て替えについて

◎議員 放課後児童クラブには百十一名の待機児童がいる。公民館や学習等供用施設を活用することについて市の見解を伺う。

◎こども部長 放課後児童クラブ運営事業者が公民館を活用して事業を行うことは有効である。メリットとして、実施場所の確保、帰宅時の安全確保、地域行事への参加、世代間交流の実施などが挙げられる。一方、継続的な使用の実現性など課題もある。

◎議員 指定管理者が実施事業として公民館もしくは学習等供用施設で学童保育をする場合、家賃補助があるが、この補助を指定管理者は受け取ることができるのか伺う。

◎こども部長 学習等供用施設を含む公民館の施設において、放課後児童健全育成事業を実施し、家賃として施設利用料を公民館に支払った場合には、賃借料補助の適用が可能であることを国へ確認している。

◎議員 この補助制度により年間約三百万円の補助金が公民館に入り、自治会の財源強化にもつながる。地域と連携した学童保育の推進を引き続き求めてまいりたい。



額井 拓磨 議員



【経済】女性デジタル人材育成事業について

その他の
主な質問

- ◎本市のフェーズフリーの推進について
- ◎交通安全対策について
- ◎生活困窮者自立支援事業について

◎議員 女性デジタル人材育成事業について、企業から求められているスキルについて伺う。

◎市民経済部長 企業から求められるITスキルは、業務効率化や生産性向上する実践的なスキルであり、具体的には生成AIを活用した文書作成や情報整理、RPAによる定型業務の自動化などである。

◎議員 応募した百七十二名に対し、十八名の受講者を選定した。受講に漏れた百五十四名に、丁寧に対応することで次年度も応募すると思うが、見解を伺う。

◎市民経済部長 受講に至らなかった方々に対し選考結果を通知する際、希望者には、今後もデジタル分野に関する学びや関心を継続するよう、受託事業者から情報提供を行う予定である。様々な取組で市民の学びの意欲を今後とも支えていきたい。

◎議員 次年度は女性デジタル人材育成事業の受講人数枠を拡大してもらいたい。

◎市民経済部長 人数枠の拡充も含め、さらなる充実に向けて検討したい。



岸本 一徳 議員



【教育】しまくとうば普及活動支援について

その他の
主な質問

- ◎本市の観光資源の創出と拡充について
- ◎海浜公園屋外劇場及び周辺整備について

◎議員 しまくとうばの普及には若い世代が伝統文化を継承、保存すること、また、興味を持ち、琉球の誇りとしてアイデンティティを確立していくことが必要と思う。教育現場での活動実績について伺う。

◎指導部長 沖縄文化の根幹をなす県民のアイデンティティのよりどころと考える。郷土文化の継承として、しまくとうばの推進を重要な柱に位置づけ、給食時の挨拶、授業やクラブ活動等を通じ児童生徒が自然にしまくとうばに触れる機会を設けている。

◎議員 教育現場のみならず本庁舎内でも掲示物や広報発信などもできる。職員間で楽しく会話に取り入れるなど、風化させないよう普及に努めていただきたい。また、普及活動に御尽力されてきた方々の高齢化も懸念されるが課題解決に向け対応を伺う。

◎教育部長 教育委員会としても危惧しており、若い方々への普及や担い手育成が課題と考え、様々な取組を充実させたい。

◎議員 今後の展開は、県の補助金等を必要とする団体へ積極的に情報提供頂きたい。



松田 朝仁 議員



【文化】県指定史跡「野高スディバナピラ石畳道」の復元と歴史を学ぶ文化講座について

その他の
主な質問

- ◎広がる支援の輪で「募金ができる自販機」の設置について
- ◎普天間飛行場返還までの市民の安全確保と常駐機の分散移転について

◎議員 令和七年度に県指定史跡となった野高スディバナピラ石畳道の保存状態や県道を挟んだ東側と西側の地形の違いを伺う。

◎教育部長 東側は当時の形が残っており西側は開発などで削られ保存状態は劣っている。西側は傾斜が急であるため、石畳道を蛇行させ勾配を緩やかに抑える工夫がされていたものと考えている。

◎議員 復元作業の進捗状況を伺う。

◎教育部長 市文化財保護審議会から整備に係る現状変更許可の答申を受け契約手続を進めたが、指名業者の辞退により入札不調となった。今後、保存整備工事に着手できるよう鋭意進めてまいりたい。

◎議員 多くの市民が完成を心待ちに望む歴史的意義のある野高スディバナピラ石畳道の復元に対する教育長の見解を伺う。

◎教育長 野高スディバナピラ石畳道は地域の文化や歴史を伝える貴重な遺産である。伝統文化と歴史を大切にしながら、未来に向けて新たな価値を創造していけるよう引き続き取り組んでまいりたい。



屋良 千枝美 議員



【福祉】手話を身近な言語とするための普及促進と環境づくりについて



棚原 明 議員



◎議員 手話普及推進法の施行を踏まえ、共生社会実現に向けた取組と方向性を伺う。

◎福祉推進部長 本市では三名の手話通訳者の配置や登録手話通訳者、緊急時の委託体制がある。手話奉仕員養成講座には定員三十名に対し三十五名の応募があり、市民の関心の高まりを実感している。一方で多くの通訳者が複数の市町村に登録し急な派遣依頼に対応できない等課題もあり、今後も養成確保と普及啓発に努めてまいりたい。

◎議員 手話を身近な言語とするため、市民参加型の普及活動が不可欠である。地域イベントでの手話体験ブースや手話サポート制度の創設など、日常で触れる機会を増やす工夫が必要と思うがいかがか。

◎福祉推進部長 聾者や手話サークル等の方々から意見を伺い調査研究していきたい。

◎議員 県が定める毎月第三水曜日の手話の日を生かし、手話に触れる機会を広げていただきたい。手話を通じて互いを理解し支え合うまちづくりに向け、市民とともに歩む姿勢を大切にいただくとことを願う。

◎その他の主な質問

◎虫歯ゼロのまちづくりに向けた本市の取組について

◎地域福祉の要としての「通いの場」支援の在り方について

九月定例会 主な議案審議内容

令和七年度宜野湾市一般会計補正予算（第三号）について

可決

予算の主な内容は、補正額として三十五億六千七百二十二万円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ七百一十一億二千四百五十五万二千円とする内容である。

委員会審査においては、私立学校等給食費助成事業における根拠について質疑がなされ、これに対し、これまで公立の小中学校において助成を行ってきたが、今回、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、私立及び国立の小学校に在籍し本市に住所を有する児童を対象に助成を行うものであり、要綱は作成中であるとの答弁がなされた。

さらに委員からは、中学校においては、公立・私立及び国立も県の助成対象であるため、平等性の観点から、私立及び国立の小学校においても次年度以降も助成を継続していただきたいとの提言がなされた。

また、コミュニティ供用複合施設整備事業について、このような大規模事業を当初予算で計上しなかった理由について質疑がなされ、これに対し、令和六年度より検討を行ってきたが、旧交通裁判所の取得が不透明であったこと、補助元との調整が当初予算計上時までに整理がつかなかったこと及び防災機能以外の複合的な利用のさらなる検討が必要であったため、令和七年度当初予算へは計上しなかったとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、全会一致をもって原案のとおり可決された。

福祉教育常任委員会 所管事務調査



日程：10月14日～16日

視察先：東京都三鷹市、武蔵野市

視察項目：【三鷹市】

- ・コミュニティ・スクール
- ・地域こどもクラブ事業

【武蔵野市】

- ・武蔵野市あんしん住まい推進協議会

令和7年度市議会議員・職員研修へ参加

去る10月20日、糸満市にて株式会社廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に「一般質問の作り方」をテーマに講演がなされ、10市の市議会議員219名、事務局職員が多数参加いたしました。

生成AI基礎についての議員研修を開催



去る10月1日、本市にて株式会社okicom代表取締役社長の小渡玠様や社員の皆様を講師に招き「生成AI基礎と活用～議員活動に活かす視点～」についての研修を資料や実例を基に実演を交えながら開催いたしました。

第 466 回宜野湾市議会臨時会 議決結果一覧 (全会一致)

種類	件 名	議決結果
議案	令和 7 年度宜野湾市一般会計補正予算(第 2 号)	原案可決

種類	件 名	議決結果
議案	建物の取得について	同 意

第 467 回宜野湾市議会定例会 議決結果一覧 (全会一致)

種類	件 名	議決結果
議案	令和 7 年度宜野湾市一般会計補正予算(第 3 号)	原案可決
	令和 7 年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決
	令和 7 年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決
	令和 7 年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決
	令和 7 年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決
	令和 7 年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決
	宜野湾市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
	宜野湾市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
	高規格救急自動車購入に係る物品の取得について	同 意
	高度救命処置用資機材購入に係る物品の取得について	同 意
	宜野湾市西普天間住宅地区区画道路の電線共同溝工事の委託に関する令和 7 年度協定の締結について	同 意
	中部広域市町村圏事務組合の規約の変更について	原案可決
	令和 6 年度宜野湾市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定

種類	件 名	議決結果
議案	令和 6 年度宜野湾市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
認定	令和 6 年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	令和 6 年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
陳情	令和 6 年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
	県産品の優先使用について	採 択
報告	市産品奨励及び市内企業優先使用にかかる要請	採 択
	令和 6 年度宜野湾市の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
	令和 6 年度宜野湾市土地開発公社事業報告及び決算報告について	報 告
	令和 6 年度宜野湾市育英会の業務報告について	報 告
	令和 7 年度(令和 6 年度事業)宜野湾市教育委員会点検・評価報告について	報 告
	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
	物件接触事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告